

寄附講義レポート⑤

記：渡邊

1. 実施日： 2023年11月9日(木)

2. 講師： 藤村 諭史さん(54期) エン・ジャパン株式会社

※まずは、隣同士のペアワークで、「24時間以内にあった、ありがたかったこと」を話すことからスタート。ありがたいの反対はあたりまえと再認識しました。

3. アジェンダ：

①自己紹介 ②会社紹介 ③人材紹介業界④私の就職活動⑤エン・ジャパンでのキャリア⑥ワーク⑦小テスト

①自己紹介

事業部長2年目、二児のお父さんで、外が大好き。和歌山大学生時代の友人つながりで、休日にNPOでチャンバラ活動などもしていたとのこと。

②会社紹介

設立24年目、社員数約3400人、売上677億、東証プライム上場、平均年齢28.8歳
ベトナムでのシェアは1位。

・若手が力を発揮できる部署に着ける会社だそうです。

③人材紹介業界

人材紹介とは「企業と求職者の間に直接介在し、採用・転職の支援を行う仕事」で、人材業界という括りでいくと最近は「HR-Tech」「ダイレクトリクルーティング」の市場が特に伸びていることがポイントのようです。

講師の会社は、もともとは求人広告が中心だったようですが、10年前から人材紹介業をスタートし、講師がそのエン エージェントの事業部を率いていて、業績が伸びているとのこと。

・玉石混淆の業界のようですが、既に業界4位の位置を占めています。特に転職後のフォローが利用者の安心と信用を向上させていると感じました。

④私の就職活動

和歌山大学は、周りに他の大学が少なく、学生同士のつながりも強く、国立大学という評価もあるので、良い環境にあると考えて下さい。

学生時代のアルバイトでの失敗を糧に、本庄先生との出会いで、就職支援サークルを立ち上げたとのことで、それが、就職にも生かされたようです。

・就活の軸として、「やりたいこと」より「なりたい自分」で選択肢を増やし、ファーストキャリアとして就職を成功されたとのこと。キャリアには川下り型と山登り型

の2つの型がある。ブランドハップンスタンス理論での川下り型での行動が良さそうです。

・日本人の仕事価値観、労働時間と幸福度の世界ランク、自分を知るライフラインチャートを示し、若いうちはたくさん挑戦しようとして強調されていました。

⑤エン・ジャパンでのキャリア

キャリア自己選択力(CSA)を高める4つの環境や会社のパーパスを紹介頂きました。

⑥ワーク

(1)なぜ日本は他先進国(アメリカ・イギリス・ドイツ・韓国)に比べて、プライベート重視・給与重視の仕事観の人が多くなっているのか？

(2)日本人がもっと仕事に前向きになるためには、どのような取り組みが必要か？

・6チームでのホワイトボードを使っての議論で、各チームの発表もしっかりと出来ていたので講師も感心していました。

・年功序列の弊害、スキルが無くても就職できる、賃金が低い、趣味や娯楽の多様化、成果主義の必要性、消極的・あいまいな意識等のキーワードが出ていました。

⑦小テスト

・本講義での学び・仕事を選ぶうえで、大切にしたい軸・明日からやると決めたことを記入して頂きました。

4. 感想

18年前から継続している柑芦会の寄附講義ですが、なんと、18年前に寄附講義を受講されたとのことで、本当に「縁」を感じました。

コマーシャルもつい最近あたらしくなったとのことです。

アルバイトでの失敗から今の事業部長になるまでのキャリアアップや業界の裏話もしっかり教えて頂きました。特に、「人・もの・金・情報」で人材の差別化の重要性、業績の良い会社がリストラをしてJOB型中途採用に転じている動き、シックスヒューマンニーズ、外国人やAIの動向も含めていろいろな用語も勉強させて頂きました。

【渡邊】

①自社の紹介をしながら終身雇用時代とは違う今日の時代に合った職業観を語っておりよく理解できた。特に、学生時代に得たものをベースとして、就活を通じて「やりたいこと」から「なりたい自分」に発想を変え、「未来の選択肢」を増やすべく、転職ではなく初めから「力がつく会社」を選択したということが印象的であった

②心に残ったキーワードとして、Work Hard＝成果を出すために知恵を絞りながら懸命に仕事をする及びInner Callig ＝誰かのため、社会のために働くことで最終的には自分の幸福度も高まるがある。自分のためだけに働くというだけの人生はつま

らない、人のために働くことがその人の生きがいにつながるというのを読んだことがあるがまさにこれである。また、Work Hardについては成果を出すことで自信が生まれ、あくなき挑戦が人の成長につながるということだと思う。成功のスパイラルをつくる。

③最後にプレゼン部分とワーク部分の時間的バランスがとれており、日本人の働き方に関するワークのテーマも深く考えさせられる良いテーマであった。学生レポートの課題の中に「明日からやると決めたこと」も付け加えられており大変良かった。学生の方も実行してくれると思う。

【峰平】

①前半の人材紹介ビジネスの説明を通じて、学生達に「自らのキャリア開発の必要性」及び「仕事観の変革」を気づかせたのは良かったと思います。

②後半の自身の就職活動体験を通じてまずは、「やりたいこと」よりも「なりたい自分」を軸に考え、そして、たくさんの事に挑戦し、実務経験を積むことで「やりたいこと」が発見できるという強いメッセージが、学生たちには伝わり、これからの職業選択に勇気を与えることができたと思います。

今回は、独りの先輩として「キャリア」を1つのキーワードにした今後の就活等への「道しるべ」となり得る有意義な講義内容であったと思いました。

【平野】

藤村様、ありがとうございました。

【講義風景】





【発表風景】

